

秘密保持契約書

株式会社オフィスエム（以下甲という）と_____（以下乙という）は、本契約当事者の一方から他方に対して開示される情報の秘密の保持に関して、以下の通り契約を締結する。

第1条 本契約において「秘密」とは、文書、口頭によるかを問わず、甲、乙より相手側に対して開示されたものをいう。ただし、次のいずれかに該当するものについては、この限りではない。

- ① 相手側に開示された時点で、既に公知となっていたもの。
- ② 相手側に開示された時点で、既に自ら保有し、かつ、開示者から直接又は間接に得たものでないことを証明し得るもの。
- ③ 相手側に開示された後、自らの責任によらず公知となったもの。
- ④ 相手側に開示された後、正当な権限を有する第三者から秘密保持の制約なく開示を受けたもの。

第2条 甲、乙は、本契約に基づいて知り得た各々の秘密情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、相手側から事前の承諾を得ているものについては、この限りではない。

第3条 甲、乙は、秘密事項が記載又は記録されたすべての文書、図面、その他の書類又は電磁的、光学的記録媒体を相手方から事前の承諾なく複製してはならない。

第4条 本契約の有効期限については、契約の締結日から1年間とする。

第5条 甲、乙が本契約期間内に知り得た相手方の秘密の保持については、本契約終了後も依然としてその効力を有するものとする。

第6条 被開示者は、秘密事項を、情報開示の目的である業務遂行以外に使用してはならない。

第7条 乙は作業終了後、甲に納品し確認の連絡が甲から有り次第、すべての文書、図面、その他の書類又は電磁的、光学的記録媒体を削除するものとする。

第8条 甲、乙は、相手方が本契約の各条項のいずれかに違反したときは、その違反によって生じた損害について、相手方に損害賠償請求をなすことができる。

第9条 本契約に関し甲乙間に紛争が生じた場合は、東京地方裁判所又は東京簡易裁判所をもって第1審の専属管轄裁判所とする。

第10条 本契約に定めなき事項又は解釈に疑義が生じた事項については、甲乙協議の上、誠意をもって解決するものとする。

以上、本契約の成立を証するため本契約書を2通作成し、甲乙記名押印の上、各1通を保有する。

年 月 日

甲：東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエアイーストタワー4階

Tel:03-5641-7673 Fax:03-6740-6036

株式会社オフィスエム 代表取締役 田上睦深

乙：